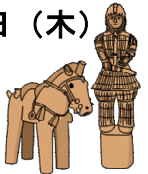


富士市立田子浦小学校

出前授業レポート



「説明が興味をひかれるものでわかりやすく、多くの体験ができてとてもよかったです。」

昨年10月にセンターを訪問し展示室の見学をした田子浦小学校の5年生89人が、6年生から始まる歴史学習に向けて学習意欲を高めることを目的に、出前授業で土器の分類、石器の試し切り、火起こしの3つの体験を行いました。5年生で見学と体験をセットで学習できたことは、子どもたちにとって、とても大きな財産となったことでしょう。

土器の分類体験

・「いろいろな時代の土器を素手で触るといふ、ここでしかできない体験ができて、楽しかったです。」

まだ、歴史学習が始まっていない5年生なので、時代の流れなどは分かっていないため、細かな時代区分は省略し、大まかな古代の話をしてしながら縄文土器、弥生土器、須恵器の説明をしました。説明を受けてから、発掘された本物の土器片を分類する作業に入りました。形や模様など、迷いながら分類しました。迷ったときは、完形土器を見たり触ったりして、土器の質感や重さ、模様などを感じ取って分類にいかしていました。



石器の試し切り体験

まず初めに、「石器って何?」「石器は何に使うもの?」等の問いかけをし、子どもたちに興味をひかせ、打製石器や磨製石器の実物を見せながら石器の違いなどを説明しました。その後、黒曜石を見せて、産地や使い方、作り方などを説明しました。説明を受けた子どもたちは、黒曜石がどれだけ切れるのか半信半疑で新聞紙やキャベツなどの野菜を切ってみました。

石で物を切ることを考えもしなかった子どもたちは、切れたことに一様に驚いていました。



・「あまり切れないと思っていたけど、すらすら切れてびっくりしました。」「キャベツを切ってみて、とても楽しかったです。」

火起こし体験

・「手がすごく疲れたけど、火がついたときはすごく興奮しました。」

火起こし経験がない子どもたちが多いクラスと、半分くらいの子が火起こし経験があるクラスと様々でしたが、もみきり式や弓きり式、舞きり式などの火を起こす方法を時代の流れに合わせて説明した後、舞きり式でのデモンストレーションをしました。火が起きると歓声が沸き拍手が起きました。次に、子どもたちが舞きり式で火起こしです。上手に弾み車を回し、ようやくできた火種を火口に寄せ、風の方向を考えて息を吹きかけると、見事火が起きました。



5年部の先生方の感想

「日程については、タイムテーブルを組んでいただいたり、場所もアドバイスをさせていただいたりして助かりました。黒曜石や石器についての問いかけが、子どもたちにとって、とても興味をひかれるものでした。子どもたちは、土器の分類で、専門家の先生にほめていただいたことを大変喜んでいました。火起こしでは、分かりやすい説明とアシストで、体験が充実する工夫をしてくださり、有難かったです。」